

# 平成 30 年度「ALS 基金」研究奨励金交付対象の決定

## ～研究奨励金の概要、研究テーマ、交付金額および交付者～

研究助成部会

### 1. 「ALS 基金」研究奨励金の概要

ALS の原因究明と治療法の確立、療養生活の改善は、患者・家族の方々の大きな願いであり、当協会の目的でもあります。そのため、広く社会に呼びかけ、募金活動を行い平成 4 年度に「ALS 基金」（当初は「ジャルサ基金」）を設立しました。これを原資にして「ALS 基金」研究奨励金を平成 7 年度に創設し、ALS の原因究明や治療法に関する研究、福祉機器開発に関する研究、看護・介護向上、療養環境の整備・改善に関する研究などに対する助成を開始しました。平成 30 年度までに約 8,750 万円（119 件）、内訳では原因・治療研究 6,250 万円（64 件）、福祉・介護 2,500 万円（55 件）を交付しています。

研究奨励金の交付決定にあたって、以下の選考委員の先生方をお願いしています。

#### < 選考委員（50 音順） >

石松 隆和	長崎大学地方創生推進本部 COC+推進コーディネーター・工学博士
糸山 泰人	国際医療福祉大学福岡キャンパス 副学長 九州地区生涯教育センター長
岡本 幸市	公益財団法人 老年病研究所 所長
木村 格	社会福祉法人 函館厚生院 ななえ新病院
葛原 茂樹	鈴鹿医療科学大学 看護学部看護学科 特任教授
近藤 清彦	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 脳卒中・脳神経センター 顧問
佐々木 彰一	あがの市民病院 神経内科 部長
祖父江 元	名古屋大学大学院 医学系研究科 特任教授
田中 栄一	独立行政法人 国立病院機構八雲病院 作業療法士
中板 育美	公益社団法人 日本看護協会 常任理事
林 秀明	東京都立神経病院 元院長

### 2. 応募状況

平成 30 年度「ALS 基金」研究奨励金交付テーマの公募を平成 29 年 12 月から平成 28 年 1 月にかけて行い、16 件の応募がありました。応募の内訳は以下です。

## ■応募の内訳

- |                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| 1. ALS の原因究明に関する研究                  | 8 件 |
| 2. ALS の治療法に関する研究                   | 4 件 |
| 3. ALS 患者の福祉機器開発に関する研究              | 1 件 |
| 4. ALS 患者の介護向上、<br>療養環境の整備・改善に関する研究 | 3 件 |

### 3. 平成 30 年度交付対象者と研究テーマ

選考委員による選考の結果、以下の方々に決定しました。

#### I 原因究明および治療法に関する研究（3 件、300 万円）

- ① 「生体内ニューロン特異的 transcriptome 解析による ALS/FTLD 発症と進行のメカニズム解明と病態に即した治療法開発」

名古屋大学医学部附属病院 神経内科 医員

井口 洋平氏 100 万円

- ② 「ミクログリア病態から挑む筋萎縮性側索硬化症の治療薬研究」

京都大学 iPS 細胞研究所 特定拠点 助教

今村 恵子氏 100 万円

- ③ 「新規モデルマウスを用いた ALS の発症病態の解明」

大阪大学医学系研究科 神経遺伝子学 特任助教

宮崎 雄氏 100 万円

#### II 福祉機器の開発および看護・介護向上等に関する研究（1 件、50 万円）

- ① 「頭蓋内皮質脳波を利用した BMI 技術とスマートデバイスの融合による革新的支援技術の開発」

大阪大学国際医工情報センター臨床神経医工学寄付研究部門 特別研究学生

藤本 陽介氏 50 万円